

眼科

大鳥安正

大阪の中心に位置していることから、近畿圏における主要な基幹病院として病診連携・病病連携の重要性を認識し、紹介元と緊密に連絡を取るようしており、特に緑内障・網膜硝子体疾患においては多くの難治性疾患を受け入れ、最終病院として機能しています。各医員は白内障以外に専門分野を標榜しており、情報収集も怠らず、最新で質の高い医療を提供することを心がけています。また、当科は平成 22 年度より日本眼科学会の定める眼科研修プログラム施行施設（基幹研修施設）に承認されており、厚生労働省の政策医療感覚器ネットワーク機関としても全国の他施設共同研究に参加しています。

平成 21 年 4 月から 22 年 3 月の眼科における総手術件数は総計 1658 件でした。

白内障：白内障手術件数は最も多く、平成 22 年の白内障手術件数は 1067 件でした。入院には片眼 6 日間、両眼 7~10 日間の通常入院のほか、1 泊 2 日入院も選択可能です。白内障手術の待ち期間は平均 1 か月程度です。**緑内障：**原発開放隅角緑内障では、薬物療法が第一選択ですが、薬物療法に反応しない場合には外科的治療（線維柱帯切除術が主流、発達緑内障やステロイド緑内障には線維柱帯切開術を選択、平成 22 年の緑内障手術件数 150 件）を行っています。また、難治な血管新生緑内障に対しても積極的に線維柱帯切除術を行っています。隅角検査のみならず超音波生体顕微鏡や生体計測を行うことで、閉塞隅角緑内障の診断・治療を厳密に行っています。**網膜・硝子体手術：**増殖糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症、網膜剥離、黄斑部手術などを中心に積極的に行っています。平成 22 年には 333 件の硝子体手術と 55 件の網膜復位術が行われ、網膜剥離症例では症例に応じて初診当日入院・当日手術も行っています。硝子体手術は 23 ゲージシステムによる低侵襲硝子体手術を実施し、良好な成績を得ています。手術加療だけでなく、外来での網膜光凝固治療や血管新生阻害薬であるアバスタチンや副腎皮質ステロイドであるケナコルト等の眼局所投与による治療も積極的に行っています。**眼形成・腫瘍＝**眼瞼下垂や内反症といった疾患に対しては、年間約 53 件の眼形成手術を行っています。眼部悪性腫瘍は当院の形成外科と連携しております。**HIV/AIDS：**当院は HIV/AIDS 先端医療開発センターであるため、免疫・感染症内科との連携によりサイトメガロウイルス網膜炎などの AIDS 眼合併症の治療を多数行っています。**角膜：**角膜疾患としては、ドライアイの症例が多く集まり、症状に応じて涙点プラグ挿入、涙点閉鎖を行います。重症例には薬剤部の協力を得て、自己血清点眼薬を自家調整し処方することで良好な成績を得ています。また、他の医療機関で難治性となった薬剤耐性菌感染症やアカントアメーバ角膜炎等の角膜感染症の治療に関しても薬剤部の協力を得て、自家調整点眼薬を処方することで良好な成績を得ています。

【2010 年度研究発表業績】

A-0

Kiuchi Y, Tsujino C, Nakamura T, Otori Y, Mochizuki H: Phacoemulsification and trabeculotomy combined with goniosynechialysis for uncontrollable chronic angle-closure glaucoma. Ophthalmic Surg Lasers Imaging 2010; 41(3):348-354 (2010 年 5 月)

Miki A, Miki K, Ueno S, Wersinger DM, Berlinicke C, Shaw GC, Usui S, Wang Y, Zack DJ, Campochiaro

PA. Prolonged blockade of VEGF receptors does not damage retinal photoreceptors or ganglion cells. J Cell Physiol. 2010;224(1):262-272. (2010年7月)

Mizuno Y, Yamada M, Miyake Y; Dry Eye Survey Group of the National Hospital Organization of Japan. Association between clinical diagnostic tests and health-related quality of life surveys in patients with dry eye syndrome. Jpn J Ophthalmol. 2010;54(4):259-65 (2010年7月)

Tominaga A, Miki A, Yamazaki Y, Matsushita K, Otori Y: The assessment of the filtering bleb function with anterior segment optical coherence tomography. J Glaucoma, 2010; 19(8):551-555 (2010年10月)

Oveson BC, Iwase T, Hackett SF, Lee SY, Usui S, Sedlak TW, Snyder SH, Campochiaro PA, Sung JU. Constituents of bile, bilirubin and TUDCA, protect against oxidative stress-induced retinal degeneration. J Neurochem 2011;116(1):144-153. (2011年1月)

Otori Y, Tomita Y, Hamamoto A, Fukui K, Usui S, Tatebayashi M. Relationship between relative lens position and appositional closure in eyes with narrow angles. Jpn J Ophthalmol 2011;55(2):103-106. (2011年3月)

A-1

中川智哉: 症例別よく使用される点眼薬 ヘルペス性角膜炎によく使用される点眼薬、治療 検査 処置 場面ごとに理解できる!新人スタッフのためのこれだけ点眼薬 100、眼科ケア 2010 冬季増刊: p121-132、2010年12月

中川智哉: 前眼部疾患 周術期所見(DSAEK など)、眼科画像診断 最近の進歩、眼科: p1412-1415、2010年9月

中川智哉: スリットスキャン型角膜形状解析 Update、眼科の新しい検査法、あたらしい眼科: 27 臨時増刊号: p17-20、2010年12月

大鳥安正: 隅角鏡検査、専門医のための眼科診療クオリファイ、緑内障診療ガイド、相原 一編集、p30-36、中山書店、2011年2月

A-3

森本裕子、堀 裕一、井上智之、前田直之: マイトマイシン C 点眼が有効であった角結膜腫瘍の6例、眼科臨床紀要 3(6): p556-561、2010年6月

富田有輝、建林美佐子、森本裕子、濱本亜裕美、林田康隆、福井佳苗、渡邊誠樹、板谷浩志、大鳥安正、五味 文、菰池佳史: 乳癌に対する化学療法に両眼性黄斑浮腫をきたした 1 例、臨床眼科 64(7):p1149-1152、2010年7月.

狩野 廉、森 和彦、中村 誠、大鳥安正：トラベクレクトミー術中手技のポイントとバリエーション、眼科手術 23(3): p413-424、2010 年 7 月。

B-1

Usui S, Ikuno Y, Miki A, Matsushita K, Yasuno Y. Evaluation of the Choroidal Thickness using High Penetration Optical Coherence Tomography with Long Wavelength in Highly Myopic Normal Tension Glaucoma. ARVO2010, Fort lauderdale, USA, 2010 年 5 月

Miki K, Miki A, Usui S., Campochiaro P.A. Systemic Administration of Dexamethorphan Slows Cone Cell Death in an Animal Model of Retinitis Pigmentosa (RP) ARVO2010, Fort lauderdale, USA, 2010 年 5 月

Miki A, Miki K, Ueno S, Berlinicke C, Wersinger DMB, Usui S, Oveson BC, Shaw G, Zack DJ, Campochiaro PA. Prolonged Blockade of VEGF Receptors Does Not Damage Retinal Photoreceptors or Ganglion Cells. ARVO2010, Fortlauderdale, USA, 2010 年 5 月

Iwase T, Jo Y-J, Usui S, Lee S, Oveson BC, Lu L, Shen J, Campochiaro PA. The Effect of Grid Laser Photocoagulation on Cone Photoreceptors. ARVO2010, Fort lauderdale, USA, 2010 年 5 月

Lee S, Usui S, Zafar A-B, Jo Y-J, Oveson BC, Lu L, Campochiaro PA. Long Term Effect of Oral N-Acetylcysteine on Slowing Photoreceptor Cell Death in a Mouse Model of Retinitis Pigmentosa (RP). ARVO2010, Fort lauderdale, USA, 2010 年 5 月

Kuroda S, Ikuno Y, Sawa Y, Tsujikawa M, Gomi F, Yasuno Y. Choroidal thickness measurement in central serous chorioretinopathy using high-penetration optical coherence tomography. ARVO2010, Fort lauderdale, USA, 2010 年 5 月

Kuroda S, Ikuno Y, Sawa Y, Tsujikawa M, Gomi F, Yasuno Y, Nishida K. Choroidal findings of central serous chorioretinopathy using high-penetration optical coherence tomography using 1 micron band. AAO 2010, Chicago, USA, 2010 年 10 月

Otori Y. How to perform gonioscopy correctly. Asia Pacific Joint Glaucoma Congress 2010, TAIPEI, 2010 年 11 月

B-4

大鳥安正、冨田有輝、濱本亜裕美、林田康隆、渡邊誠樹、板谷浩志、建林美佐子：閉塞隅角眼における相対的水晶体位置と機能的隅角閉塞の関係、第 114 回日本眼科学会総会、名古屋、2010 年 4 月

黒田聡、生野恭司、沢美喜、辻川元一、五味文、安野嘉晃：高侵達光干渉断層計を用いた中心性漿液性網脈絡膜症の脈絡膜厚計測、第 114 回日本眼科学会総会、名古屋、2010 年 4 月

松下賢治、黒田聡、高松文彦、井上智之、三木篤也、臼井審一：前房水サイトメガロウイルス陽性続発緑内障に対するガンシクロビル点眼の眼圧下降効果、第 114 回日本眼科学会総会、東京、2010 年 4 月

臼井審一、生野恭司、三木篤也、松下賢治、安野嘉晃：近視緑内障における脈絡膜厚と視野障害および網膜神経線維層厚との関係、第 114 回日本眼科学会総会、東京、2010 年 4 月

森本裕子、大鳥安正、冨田有輝、濱本亜裕美、林田康隆、福井佳苗、臼井審一、渡邊誠樹、建林美佐子：全層濾過手術 30 年後にきたした房水漏出に対して遊離強膜弁を用いた濾過胞再建術、第 21 回日本緑内障学会、福岡、2010 年 9 月

臼井審一、生野恭司、三木篤也、松下賢治、大鳥安正、安野嘉晃、西田幸二：正常眼圧緑内障における中心窩および視神経乳頭周囲脈絡膜厚、第 21 回日本緑内障学会、福岡、2010 年 9 月

三木篤也、照林彩、臼井審一、松下賢治、生野恭司、西田幸二：強度近視を伴う原発開放隅角緑内障に対するトラベクトミー、水晶体再建術同時手術、第 21 回日本緑内障学会、福岡、2010 年 9 月

臼井審一、建林美佐子、森本裕子、冨田有輝、濱本亜裕美、林田康隆、福井佳苗、渡邊誠樹、大鳥安正：80 歳以上の高齢者に対する線維柱帯切除術の短期成績、第 64 回日本臨床眼科学会、神戸、2010 年 11 月

黒田聡、五味文、沢美喜、辻川元一、西田幸二：フィブリン滲出を伴う中心性漿液性脈絡網膜症に対する光線力学的療法、第 64 回日本臨床眼科学会、神戸、2010 年 11 月

黒田聡、生野恭司、安野嘉晃、西田幸二：中心性漿液性脈絡網膜症における ETDRS 型脈絡膜厚マップ、第 49 回日本網膜硝子体学会総会、大阪、2010 年 11 月

B-5

大鳥安正：スキルアップ緑内障診断—より正確な診断を目指して—、若葉の会、大阪、2010 年 5 月

大鳥安正：続発緑内障の手術治療、緑内障手術の会、大阪、2010 年 7 月

大鳥安正：良好なアドヒアランスを維持するための緑内障薬物選択、兵庫県東地区緑内障講演会、兵庫、2010 年 8 月

大鳥安正：良好なアドヒアランスを維持するための緑内障薬物選択、第 2 回眼を守る会、京都、2010 年 10 月

大鳥安正：緑内障薬物治療：配合剤点眼薬の登場で何が変わるか？、秋田眼科研究会、秋田、2010年10月

B-6

森本裕子、板谷浩志、冨田有輝、濱本亜裕美、林田康隆、福井佳苗、渡邊誠樹、建林美佐子、大鳥安正：当院における眼内レンズ縫着術 第375回大阪眼科集談会、大阪、2010年4月

大鳥安正：閉塞隅角眼における相対的水晶体位置と機能的閉塞の関係、第3回中央区勉強会、大阪、2010年6月

臼井審一：近視緑内障眼における脈絡膜厚と視野障害および網膜神経線維厚との関係、第3回中央区勉強会、大阪、2010年6月

臼井審一、森本裕子、黒田聡、濱本亜裕美、中川智哉、福井佳苗、渡邊誠樹、建林美佐子、大鳥安正：80歳以上の高齢者に対する線維柱帯切除術の短期成績、第378回大阪府眼科集談会、大阪、2010年10月

臼井審一：正常眼圧緑内障における脈絡膜厚、日本強度近視眼底研究会、神戸、2010年11月

B-8

大鳥安正：近視を合併した緑内障診断のコツ、第27回眼循環学会、神戸、2010年7月

大鳥安正：β遮断薬を知り、配合剤点眼薬を使いこなす、第21回日本緑内障学会、福岡、2010年9月

大鳥安正：緑内障診療の落とし穴！こんな症例には気をつける、第21回日本緑内障学会、福岡、2010年9月

大鳥安正：眼科看護の重要ポイント、日総研セミナー、大阪、2010年10月

大鳥安正：スキルアップ緑内障診断、緑内障専門医を目指す勉強会、東京、2010年10月

中村 誠、狩野 廉、安藤 彰、森 和彦、大鳥安正：関西緑内障道場：帰ってきた「悩みの相談室」、第64回日本臨床眼科学会総会、神戸、2010年11月

大鳥安正：視神経乳頭と隅角の眼力トレーニング、第64回日本臨床眼科学会総会、神戸、2010年11月

B-9

大鳥安正：正常眼圧緑内障に注意、朝日放送「おはよう朝日です。けさのクローズアップ」、大阪、
2010年7月